

# 「おもしろ読書事典」活用事例応募フォーム

## 1 学校についての情報

①校名	瀬戸内市立長船中学校	②電話番号	0869-26-2029
-----	------------	-------	--------------

## 2 取組状況

取組時期、期間等	1学期～2学期（おもに校内読書週間中10/27～11/14）
対象範囲	学校全体
教育課程上の位置付け	生徒会活動

## 3 取組の具体

### (1)各クラスと図書館に「おもしろ読書事典」常備

- ・1学期中に、「おもしろ読書事典」を各クラスと図書館に置き、自校図書館にもっていなかった本を積極的に購入した。  
(学校司書感想) 推薦図書の中に、マンガや恋愛ものなどが入っていて、「おもしろ読書事典」そのものが生徒から人気があった。
- (学校司書感想)「おもしろ読書事典」は、オールカラー表紙なのと紹介文もわかりやすいのがよい。中学生に受け入れられていた。
- (学校司書感想)中学生の好みは多様で本の紹介も難しいが、これによって本の幅を広げた生徒が生まれ、ありがたい存在のブックリストだった。

### (2)放送部13名による全クラスへの一斉朗読読み語りをおこなった。(11/10)

- ・おもしろ読書事典で紹介されていた「ヒット商品研究所へようこそ」の一部を朝の10分間で読み語った。
- ・学校内読書週間中のイベントとして放送部に依頼し、放送部は約2週間朗読練習をし、本番を迎えた。
- ・先輩のクラスへ読みに行く生徒もあり、緊張していたが、どの生徒もしっかり読み語った。
- ・自分たちの仲間である生徒が一息懸命語る姿に、聞き手も静かにしっかり聞くことができた。語り手にも聞き手にも良い活動となった。
- ・読み語りに使用した本は1冊しかないのので、表紙をカラーコピーして各教室に掲示。その後、何人かの生徒に借りられた。



各クラスに読み語りに行っている様子



実物は一冊しかないのだからカラーコピーして紹介

### (3) おもしろ読書事典に載っている本をチェックして、好きな2ページを特集展示(冬休み貸し出し12/15～)

- ・文化委員の中で当番を作り、その生徒が好きな見開き2ページを廊下に特集展示した。
  - ・担当生徒の好みで、いろんなページの本を展示できた。その効果でその本がよく借りられた。
- (生徒の感想)おもしろ読書事典に載っている本がうちの学校図書館に結構入っているのがわかった。  
(文化委員の感想)「次の展示はどのページ?」「今度はこの特集にして」などと要望が入って、やりがいがあった。



P22-23



P50-51



P80-81

### (4) 長船中版「おもしろ読書事典」作成10/27～11/14(文化委員発案)

- ・読書週間中に、本の題名と一言感想を書くカードを来館した生徒に配付・回収。
  - ・集めたカードをジャンル別(恋愛・ミステリー・ファンタジー・よみもの・マンガ・ちょっと一息)に分けて、3冊の本にした。
  - ・おもしろ読書事典と一緒に置いておくと、こちらもよく手に取られている。
- (生徒の感想)こんな本もあるんだという発見があった。  
(生徒の感想)こういうジャンル別の本の紹介カードはわかりやすくていい。  
(生徒の感想)自分が好きな本を他の人も好きというのがわかって嬉しかった。  
(文化委員の感想)先生方やおうちの人、他校の文化委員さんにも呼び掛けて、カードに書いてもらえカードがたくさん集まりよかった。  
(生徒の感想)せっかくの図書館の本を読んでもらえないのは残念なので、こうやって紹介してブームを作れるのはいいことだ。  
(生徒の感想)みんなが本を読まないといい本を買ってもらえないのが心配。みんな本を読もう。



長船中版おもしろ読書事典



おもしろ読書事典を作ったり、それを見たりしている生徒

## 4 成果

「おもしろ読書事典」を通して、中学生がどうやったら心を動かして本を手に取り読むかを文化委員と共に考え、取り組んでいく中で中学生の本音に向き合え、これからの読書につながる有意義な取り組みとなった。